

息を合わせて、
うんとこしょ！



特集 空き家について考える

今月の主な内容

- ・次期学習指導要領に対応した学校教育の充実など
- ・糖尿病を予防・改善しましょう
- ・11月は「児童虐待防止推進月間」です
- ・市長メッセージ

金勝第1 幼稚園で芋ほりが行われました。今年のさつまいもは小ぶりでしたが、園児たちは土の中から芋を見つけると嬉しそうにみせてくれました。

芋ほりのあとは、さつまいものつるを使って引っ張り合いっこをしたり電車ごっこをしたり楽しく園庭で遊んでいました。



▲観音寺の集落



▲東海道の街道筋



空き家について考える



▲「住まいの記憶史」調査に協力いただいたお宅

■増える空き家問題

空き家を所有している、実家が空き家になりそう、自宅付近に空き家がある：

人が住まなくなり、放置されたまま、持ち主がわからなくなった空き家は全国に多く存在し、本市も例外ではありません。

住んでいた人が引っ越したり、亡くなったりすることで空き家は生まれてしまいます。長期間放置されると、古い建物はさらに老朽化が進み、雑草が伸びたり外壁や瓦がはがれ落ちたりするなど、近隣住民に迷惑がかかるケースも少なくありません。

本市ではこの増える空き家問題に対し、さまざまな事業により対処しようとしています。

空き家は所有者だけの問題ではなく、地域全体の問題にもなります。今一度、空き家について考えてみませんか。

圃住宅課 住宅係

☎ 551-0347

FAX 552-7000

空き家対策の取組み強化に向けて

本市では「栗東市空家等対策計画」および「栗東市空家等対策条例」を定め、空き家対策に取り組んでいます。空き家利活用の取組みとしては、これまで「りっとう空き家バンク（空き家マッチングサイト）」の設置や、「利活用モデル事業」の準備を進めており、今後さらに、空き家利活用の推進のため「NPO法人くらすむ滋賀」（以下くらすむ滋賀）に事業委託しています。

くらすむ滋賀の設立

本市では空き家対策の担い手づくりを目指し、令和元年度、国土交通省の「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」に提案し、事業採択を受けました。この事業の取組みは、「住まいの記憶史」調査や市街化調整区域における空き家対策に向けた民泊法活用などの検討、利活用希望者との交流事業などです。

主な活動メンバーには、建築士、社会学者、デザイナー、コンサルタントなどの異なる分野の専門家が集い活動を展開し、このときのメンバーが中心となって令和2年6月にNPO法人くらすむ滋賀を設立しました。

くらすむ滋賀の理念

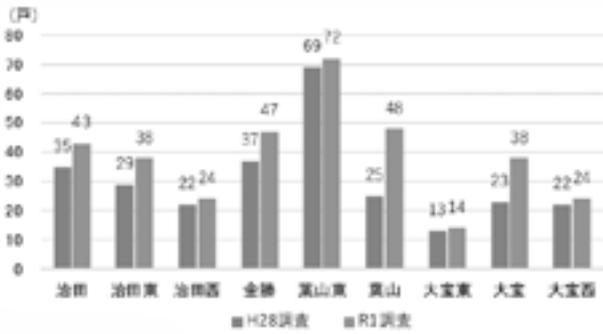
空き家問題では、相続により放置されていたり、流通できなかつたりすることにより、老朽化が進み地域社会の安全を脅かす諸課題が発生しています。この対策として、問題空き家にならないように財産の活用（売却や除却）などの支援をすることが多いですが、ただ処理するだけではなく家屋の可

能性を引き出し活用することも重要です。くらすむ滋賀では所有者の家屋に向けた思い入れや思い出にアプローチすることで、大切な家屋を住み継ぐ仕組みをつくっていく「住まいの記憶史」を大切にしています。所有者や関係者を対象に、暮らしや家屋への思い、建築様式に込められた暮らしの経過を聞き取り、記録していくことで、地域文化の伝承、地域社会の再発見、再評価をし、美しい家屋をこれから未来に継承し、活用していくことを目指しています。

今後の本市の取組み

空き家利活用の事業を継続していくために、りっとう空き家バンクの運営、相談業務と空き家利活用モデル事業の実施をくらすむ滋賀と連携して行っていくことで、よりいっそう所有者の思い、地域の思いに寄り添った空き家利活用施策を進めていくことを考えています。

一方、空き家対策は利活用促進だけでなく、適正管理や管理不全空き家の解消に向けた取組みも実施していくことが求められています。多様な空き家対策に向けて、関係機関や関係団体との連携・協働を基本姿勢に、着実に空き家対策を進めていきたいと考えています。



▲学区別の空き家数(令和元年度調査)



▲「住まいの記憶史」調査 聞き取りの様子



りっとう空き家バンクとは

栗東市で暮らしたい、お店を開きたいなどの移住・利活用を希望する双方の想いのマッチングのための仕組みをいいます。空き家や空き店舗を放置せず、地域資源として、地域のまちづくりに活用することを目指しています。



住まいの記憶を紡ぎ、住み継ぐ



NPO法人くらすむ滋賀
事務局長 玉田遼河

■栗東市との関わり

くらすむ滋賀で8月より事務局長として採用されました。市との関わりは今年からではなく、大学在学中の2017年から3年間、まちづくり実習として、岡地域、日川地域を中心にまちづくりに参画していました。東海道ほっこりまつりの実行委員会にも参加したことで、街道の歴史に触れ、地域に住む皆さんと出会う機会に恵まれました。また、栗東市BBS会という団体に中学生を対象とした学習支援と交流事業にも大学時代から関わらせて頂いています。卒業後もこうして市と関わる機会を

得られたことを嬉しく思います。

■「住まいの記憶史」を大切に

本法人は美しい家屋を残していきたい、まちづくりに少しでも貢献したいという想いで始まった団体です。いかに空き家を流通に乗せるか、いかに危険な家屋を管理するかではなく、「住まいの記憶史」から改めて家屋の価値を創造し、できるだけ地域住民の想いに寄り添った上で家屋のこれからを考えていきたいという想いから、「住まいの記憶史」を重視していきたいと考えています。

市内の活動は市と連携をとって

つ、空き家バンク、リノベーションモデル事業などに携わっていく予定です。空き家の活用という観点から、栗東のまちがより住みやすく、より魅力的になっていくお手伝いをしていきます。

■「住み継ぐ」の在り方

空き家利活用の推進を図ってきたいという思いを持ちつつ、一方でその手法についてはまだ模索しながら活動を進めています。家屋を引き継いでいくことの正解はひとつではありません。所有者、周りに住んでいる人それぞれで考え方や想いは異なります。取り壊さず誰かに引き取ってもらいたい人、あるいは管理は面倒くさいという人もいれば、すぐにでも取り壊して欲しい人もいます。

まちづくりに関して重要なのは、地域に住む人たちにとってどのような暮らしを守ったりつくりたいしていきたいのかを丁寧に考える事だと思っています。そのためにはまず今まで住んできた人の想いを、これから住んでいく人の想いを丁寧に紡いでいく必要があると思っています。その上で市ならではの家の住み継ぎ方を模索していきたいと考えています。

■市民の皆さんへ

これからの空き家問題にどのように付き合っていくべきか、市民の皆さんとともに考えていければと思います。その上で市への提案や、市民の皆さんへお願いすることもあると思います。そういった意味でも、市内外関わらず家屋所有者の協力が不可欠です。栗東市民の皆さんの協力も必要となります。現在は栗東市役所二階建設部住宅課内に事務所を置き活動をしています。皆さんの家屋に関する相談や提案など気軽にお聴かせください。



「住まいの記憶史」の調査

■「住まいの記憶史」の調査

令和元年度の「住まいの記憶史」調査では、歴史街道近辺や中山間地域の家屋など3件を対象に行いました。家屋の基本情報だけでなく、建築工法や使用された材料などの建築の視点から家屋を読み解くとともに、刻み込まれた想いやエピソードなど家屋所有者の生活史の聞き取りを通じて、家屋と地域、家屋と家族などの物語を掘り起こしてきました。調査メンバー一人ひとりが興味や関心があることを中心に語りを掘り下げ、多くの語りを聴いていきました。

■リーフレット「すみつく」

「住まいの記憶史」は記録するだけがゴールではなく、他者にいかに分かりやすく効果的に伝えていくかに注目しています。昨年度は聞き取りの内容を言語化したつづ、手に取りやすい形を目指して、デザイナーの監修でB2版面力ラー印刷の紙媒体「すみつく」として形にしました。文章も読む順番や写真の配置の仕方など、楽しく読み進められる工夫を施しています。また、家屋や周りの様子、

家財などの写真をちりばめつつ、家に置いてあったものを所有者のエピソードとともに紹介するコーナーや、建築士がスケッチした間取り図を載せるなど、記憶史の内容を補助する要素も盛り込んでいます。このように工夫を施しながら、今後家屋を引き継ぐ人に所有者の想い入れを感じ取ってもらい、家屋を大切に活用する意識を継承していけるようなリーフレットの作成を進めていきました。



▲リーフレット「すみつく」の一例（両面印刷・カラー）

■「住まいの記憶史」語り手募集中

代々住み継いできた家や土地でも、数年間借りたアパートでも、住まいには想い入れと想い出があります。時代や環境の変化に応じて変わる、暮らしと住まいとの関係についていろいろな人からうかがい、「住まいの記憶史」として大切にしたいと考えています。なお、今年度はリーフレット「すみつく」の作成は行いません。

△取材内容▽

「住まい」の想い出だけでなく、お生まれから現在までの人生を伺います。

△取材方法▽

- 聞き手…くらすむ滋賀
- 理事 笠井賢紀
- 方法…法人のスタッフが伺い、ウェブ通話システムで聞き手が取材。

● 時間…1.5～2時間

△公開方法▽

原則、匿名化してNPO法人くらすむ滋賀のウェブサイトにと広報媒体に掲載します。

△謝礼▽

金品の謝礼はありません（取材時の語りのデータ・文字起こしのデータとウェブサイトに掲載原稿の提供をします。）

△応募期日▽

● 第1期（今回）

2020年11月31日

（取材は同年10月から12月）

● 第2期（予定）

2021年2月28日

（取材は同年1月から3月）

△応募条件▽

① 栗東市域に住まいがあるまたは、あった人

② 記録と取材後の記事公開を承認いただける人

△応募方法▽

● くらすむ滋賀事務局へ応募期日までにお問い合わせいただくか、二次元コードより「エントリーフォーム」にて応募。

「住まいの記憶史」
語り手エントリー



△選定方法▽

応募から1週間以内に連絡します。日程や内容についての確認・調整の上で依頼します。

〒NPO法人くらすむ滋賀

事務局 玉田

(建設部 住宅課内)

☒ office@kurasumu-shiga.org

☎ 551-0347

令和3年度学童保育所入所申込について

学童保育所は、保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学生に対し、放課後などに適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を目的とした施設です。次のとおり、令和3年度の入所申込の受付を行います。

■市立学童保育所

【申込書交付・受付期間】

- ・金勝学童保育所、治田学童保育所、治田東学童保育所、治田西第一学童保育所、治田第二学童保育所、大宝学童保育所、大宝東学童保育所、大宝西学童保育所
- 11月2日(月)～11月24日(火)
- 13時～18時(土、日、祝を除く)
- ・葉山学童保育所、葉山東学童保育所
- 12月1日(火)～12月22日(火)
- 13時～18時(土、日を除く)

※10月中旬まで当該小学校区内で民設学童保育所を設置・運営する事業者を募集していたため、右記の期間とします。

【申込書交付・受付場所】

各市立学童保育所(市役所では、申込書の交付および受付は行って

いません。)

※申込書は(福)栗東市社会福祉協議会のホームページからダウンロードできます。

☎(福)栗東市社会福祉協議会
554-6105 FAX 554-6106

■民設学童保育所

【申込書交付・受付期間】

- ①こだまクラブ(大宝東・大宝)
- ②大宝こだまクラブ(治田西)
- ③治田くじら学童保育所(治田)
- ④治田東くじら学童保育所(治田東)
- 11月2日(月)～11月24日(火)
- 13時～18時(土、日、祝を除く)
- ※カッコ内の小学校区に在住している児童が対象です。詳細は左記までお問合わせください。

☎①・②…(福)湖心会

(こだま保育園)

☎554-5262 FAX 554-5263

③…(福)くじら

(治田くじら学童保育所)

☎552-2700 FAX 554-8056

④…(福)くじら

(治田東くじら学童保育所)

☎554-5700 FAX 598-0782

教育委員会委員に田中和子さん

本市の教育委員会委員に田中和子さん(下戸山)が10月1日付で再任されました。田中委員は市内小学校長などを務め、平成28年10月1日より教育委員会委員に就任し、活躍されています。

再任にあたり「予測のつかない変化の激しい社会にあっても『心豊かにたくましく生きる人の育成』の実現に、教育委員会委員として責任を担って全力で頑張りたいと思います。」と抱負を述べられています。



市長から任命書を受け取る田中さん(左)

☎教育総務課 庶務係

551-0129 FAX 551-0149

栗東市立大宝幼稚園分園の閉園のお知らせ

大宝幼稚園分園は、栗東駅周辺の開発などにより、大宝幼稚園(本園)の園児数が急激に増加したことを受けて、平成16年4月に10年間を目前に閉園しました。

その後10年経過後も、園児数や人口推移などを勘案し、今日まで閉園時期を延長して運営してきました。

しかし、開園より16年が経過し、開園当時と比べ、分園・本園ともに園児数が約半数まで減少していることや対象児人口の推移なども踏まえ、第2期栗東市子ども・子育て支援事業計画に基づき、令和5年3月末をもって分園を閉園し、令和5年4月からは、本園に統合しての運営とさせていただきます。

なお、令和3年度分園への申込みは、これまで通り受付ますが、令和4年度末で閉園となりますのでご了承ください。

☎1551-0424
FAX 551-0149
園幼児課 保育園・民活推進係

次期学習指導要領に対応した学校教育の充実など

およそ10年ごとに改訂されてきた学習指導要領ですが、小学校では2020年度から新学習指導要領が実施、中学校では2021年度に実施予定です。その中で、特に注目される内容について紹介します。



文部科学省ホームページより

「特別の教科 道徳」道徳教育の充実

現代社会のさまざまな課題に対応するためには、人が互いに尊重し協働して社会を形作っていく上で共通に求められるルールやマナーを学び、規範意識などを育むことが求められています。同時に、「人としてより良く生きるうえで大切なものは何か」「自分はどういう風に生きるべきなのか」などについて考える必要性が問われています。したがって、これからの道徳教育は、自立した一人の人間として人生を他者とともによりよく生きる人格を形成することを目指します。

学校では、さまざまな課題に「自分ならどうするか」と向き合い、自分とは異なる意見をもつ他者と議論する授業などを通じて道徳性を育む学習をします。

外国語教育の充実

今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが、成人して社会で活躍する頃には、日本は労働年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などによ

り、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化していることが予想されます。グローバル化が進む中で、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、生涯にわたるさまざまな場面で必要とされています。また、外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションをとろうとする態度や、得た情報と考えを的確に理解したり適切に伝えたりする力を身に付けることが求められています。

小学校3・4年で「外国語活動」、小学校5・6年で教科としての「外国語科」が導入されました。外国語でコミュニケーションできるようになることを目指し、「聞く」「読む」「話す」「書く」の力を総合的に育みます。

情報活用能力（プログラミング教育を含む）の育成

今回の指導要領改訂で初めて登場したのが「プログラミング教育」です。これはコンピュータプログラミングを行う能力そのものでは

なく、自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような情報をどのように組み合わせさせて進めればよいのか、また、どのように改善していけばより意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えることのできる力の育成を目指しています。そうした力を文部科学省は、「プログラミング的思考」と呼んでいます。

一方、情報化社会における情報活用能力の育成が求められる中、小・中・高等学校では、情報活用能力を「学習の基盤となる資質・能力」としています。この情報活用能力とは、コンピュータなどの情報手段を適切に用いて情報を収集・整理・比較・発信・伝達したりする力のことです。そこで、本市教育委員会では、文部科学省の「GIGAスクール構想」実現に向けて準備を進めており、次年度には臨時休校下でも対応可能な新たな環境を目指しています。

問 学校教育課 指導第1係

☎ 551-0130
FAX 551-0149

血糖値が気になる人へ 糖尿病を予防・改善しましょう

本市の糖尿病と糖尿病予備群の人を合わせると40歳以上でおおよそ5人に1人。(滋賀県保健協議会平成29年健診結果等データ分析結果報告書より)

糖尿病を予防・改善するために、糖尿病について知り、できることから始めましょう。

■糖尿病ってどんな病気？

食べ物からとった糖分は消化、分解されてブドウ糖になります。ブドウ糖は血液中では血糖として存在し、インスリンというホルモンの助けを借りて、細胞に取り込まれ、エネルギー源となります。

しかし、糖尿病になると、インスリンが十分に働かず、細胞に糖をうまく取り込めなくなるため、血液中に血糖が増え、高血糖の状態となってしまう。

高血糖状態が続いても、すぐには自覚症状としてあらわれませんが、放置すると全身の血管が傷つき、動脈硬化が進行し、大きな病気につながります。

■糖尿病・合併症の危険度は血液検査と尿検査の数値でわかります
健康診査や定期受診の際には、検査の結果を確認し、症状が出る前に予防しましょう。

検査の結果を確認し、症状が出る前に予防しましょう。

■糖尿病を予防・改善するために生活習慣を見直そう

【見直しポイント1…食事に気を付けよう】

- 単品メニューより定食を
麺や丼ものなどの単品メニューは炭水化物が多いため血糖値の上昇につながります。
- 野菜から食べよう
食べ物によって血糖値の上がり方が違います。「野菜」↓「肉、魚、卵」↓「米、パン、麺」の順に食べると血糖値の上昇は緩やかになります。

- 3食決まった時間に食べよう
欠食があると、次に食事をしたときに急激に血糖値が上昇します。

- 食べ過ぎに注意
糖を細胞がうまく取り込めず高血糖状態になります。
- 間食は時間を決めて昼間に1回
頻回な間食は高血糖状態が続くこととなります。

糖尿病による病気のリスク

脳梗塞…命の危険、麻痺などの障害が残る

糖尿病性網膜症…視力の低下、失明

心筋梗塞…命の危険、重い障害が残る

閉塞性動脈硬化症…足の冷え、しびれ、歩行障害

糖尿病性腎症…人工透析

糖尿病性神経障害…足裏の感覚が鈍くなる(ケガに気づかず傷口が化膿)

その他…認知症や、感染症になりやすいなど

検査結果の見方

	正常値	生活習慣を見直そう	医師の診察を受けよう
HbA1c	5.5 以下	5.6 ~ 6.4	6.5 以上
空腹時血糖	99 以下	100 ~ 125	126 以上
尿糖	- (陰性)	±, +, ++, +++	



【見直しポイント2…軽い運動をはじめよう】

体を動かすことでブドウ糖をエネルギーとして利用するため、速やかに血糖値が下がります。運動を続けて肥満も解消すれば、インスリンの働きがよくなり血糖値が上がりにくい体をつくることができます。

- おすすめのタイミング
血糖値が一番高くなる食後30〜60分後に15〜30分の運動を週3〜4回。
- おすすめの運動の強度
「楽である」から「ややきつい」と感じるくらいが最適。激しい運動は体の負担になります。



☎ 健康増進課 健康管理係
554554-6100
FAX 554554-6101



11月は「児童虐待防止推進月間」です

子どもの尊い命が奪われることへの懸念がある児童虐待が、後を絶ちません。

児童虐待には、身体に外傷を負わず（負わせる恐れがある行為を含む）「身体的虐待」、児童に対してみだらな行為をする、させるなどの「性的虐待」、十分な養育をしない（食事を与えない、病院、学校、健診に連れて行かないなど）「ネグレクト」、子どもに暴言を浴びせる、配偶者間の喧嘩・DVを見せるなどの「心理的虐待」があります。

児童福祉法などの改正により、親権者などは、児童のしつけに際して、体罰を加えてはならないことが法定化され、令和2年4月より施行されました。体罰禁止に関する考えなどが普及し、社会全体で体罰などによりない子育てについて考え、保護者が子育てに悩んだ時に適切な支援につながるよう、子どもの様子を見て「おかしいな」と思ったら、ためらわず下記へ連絡をお願いします。

「児童虐待の連絡、子どもに関わる相談先」

市役所 子育て応援課

家庭児童相談室

☎ 551-0300

（平日10時15分～17時15分）

滋賀県中央子ども家庭相談センター

☎ 562-1121

（平日8時30分～17時15分）

子どもを守る虐待ホットライン

☎ 562-8996（24時間受付）

児童虐待全国共通ダイヤル

☎ 189（無料）（24時間受付）

（最寄りの子ども家庭相談センターに繋がります）

草津警察署

☎ 563-0110

岡子育て応援課 家庭児童相談室

☎ 552551-0300

FAX 552551-9320

旧RDエンジニアリング最終処分場 二次対策工事の進捗状況について

滋賀県が実施している、旧RD最終処分場問題解決のための二次対策工事は、平成25年12月に着手され、廃棄物などの掘削除去を行うとともに、底面粘土層の修復と側面地下水帯水層の遮水を行う工事が進められ、11月末に工事完了の予定です。

■工事の進捗状況について

処分場内の掘削、遮水工並びに有害物掘削が完了し、残る平面部覆土工、舗装工事、フェンス工事を順次実施されます。

■モニタリング調査結果について

処分場の浸透水、周辺地下水の水質調査が定期的に実施されており、5月の調査では、前回調査から引き続き、ひ素で3地点、ほう素で1地点の基準超過がありました。また、栗東町由来の家庭系ごみに関する影響調査では、環境基準を超える有害物質は検出されませんでした。

■旧RD最終処分場問題連絡協議会について

工事の進捗状況や水質調査の結果の報告をはじめ、処分場上流側の観測井No.1-1の電気伝導度の上昇や処分場北側の観測井H26-

S2(2)の地下水水質の動向についての説明がありました。

また、これまでの取組みの記録をまとめ、振り返ることで今後の廃棄物行政に生かすアーカイブの作成、跡地利用検討の進め方、話し合う場の設定についての提案がありました。

※地下水などの利用にあたっては引き続き十分にご留意願います。対策工事や周辺地下水などの状況については、滋賀県ホームページ（<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/hakibutsu/20109.html>）をご覧ください。

岡市役所 環境政策課

産業廃棄物対策室

☎ 551-0469 FAX 554-1123

滋賀県最終処分場特別対策室
☎ 528-3670 FAX 528-4849



処分場平面部の覆土の施工状況
撮影日 2020年7月31日<滋賀県最終処分場特別対策室資料引用>

令和3年 栗東市成人式の開催について

今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、対象者を2部に分けて式典を実施します。また、例年実施している記念行事は、同様の理由のため、開催を見送ります。

■日時

令和3年1月10日(日)

【1部】13時～13時25分

(受付12時15分～12時50分)

【2部】15時～15時25分

(受付14時15分～14時50分)

■場所

栗東芸術文化会館さきら

大ホール(滝二丁目1番28号)

■参加対象者

平成12年(2000年)4月2

日から平成13年(2001年)4

月1日生まれの人

【1部】栗東西中学校区在住者

【2部】栗東中学校、葉山中学校

区在住者

※市外から参加を希望される人は直接会場にお越しください。

■案内

対象者に、案内のはがきを12月上旬ごろに送付します。

■注意事項

・当日、栗東芸術文化会館さきら敷地内へのアルコール類の持込

および飲酒行為を禁止します。

・新成人以外(保護者含む)の式典会場への入場は出来ません。

■新型コロナウイルス感染症対策

【参加者関係】

・必ずマスクを着用してください。
・新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合や体調不良時には参加しないでください。

・他地域から参加を希望される人は、居住地域に緊急事態宣言が発令されている場合や他地域への移動を自粛要請されている場合は参加しないでください。

・体温が37.5℃以上を計測した場合、会場への入場をお断りします。

■式典開催が不可能な場合

本市域に緊急事態宣言が発令されるなど、式典の開催ができない場合、次年度に延期します。(候補日:令和4年1月8日(出))
※新型コロナウイルス感染症を巡る状況の変化による開催方法の見直しがある場合は市ホームページなどでお知らせします。

生涯学習課 青少年教育係

☎ 551-0496

FAX 552-5544



市長からのメッセージ

市民の皆さまへ

皆さまに元気をお届けできるよう全力で取り組みます

例年この時期は、市内各所でふれあい祭りや文化祭など多くの催しが開催されていますが、今年はコロナ禍の影響から、多くの行事が中止や、規模、形態を変えての開催とならざるを得ない事態となっております。

このようなか、市民ならびに事業者の皆さまには、日々感染拡大防止にご尽力をいただいていることに改めて心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスは私たちの日々の生活や地域経済に大きな影響を与えています。市民生活の下支え、市内経済の活性化、新しい生活様式の定着を目的に、市民の皆さまにご活用いただけるよう、この度、「りっとう元気アップ応援券」を配布させていただきます。

「応援券」は11月1日から来年2月28日まで、取扱登録された市内の店舗、事業所での飲食、お買い物などに使用いただけます。

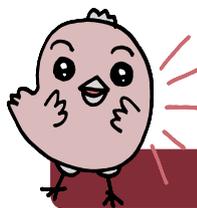
また、今年はインフルエンザ

と新型コロナウイルスの同時流行が懸念されています。これを踏まえ、生後6か月以上から中学3年生、妊婦、高齢者を対象としたインフルエンザのワクチン接種費用や自治会や事業者が行う新型コロナウイルス感染症防止対策に要する費用につきましても、一部補助などの新たな事業を創設いたしました。(詳しくは別紙折込チラシをご覧ください。)これらの事業などに取り組むことで、引き続き、市民の皆さまに元気をお届けできるよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

栗東市長

野村昌弘





子育て情報

身体づくり（あそびながらの運動）

子どもは5歳までに大人の8割程度まで神経機能が発達すると言われています。運動機能の発達には、頭に近い部分から足先に近い部分へ、中心部分から末梢部分へ、粗大運動（身体全体を使う運動）から微細運動（手や指を使った細かい運動）へと進みます。特に身体の成長とともに運動機能が飛躍的に伸びるのが乳幼児期。生後間もないねんねの時期から、お座りやハイハイ、そして立ち上がり歩くことができるようになります。この時期に、体全体を動かす楽しさを味わうことで、子どもの心身の成長に繋げていけるよう、生活の中で「あそびながらの運動」をしてみましょう。

0歳児には、スキンシップや声かけで安心感を与えながら、子どもが体を動かすことができる範囲を意識し、手足を伸ばしたり縮めたり、手を開いたり閉じたり、大人との触れ合いの中でゆっくりと運動を行うとよいでしょう。

1歳児は、伝い歩きから歩き始める時期です。動きも活発になるため転倒による怪我に注意しながら、素足で砂場や芝生などで歩いたり、簡単なボール遊びも取り入れたりしてみましょう。

2歳児は、歩行も安定し、走ったり、自由に体を動かしたりできることが多くなります。家の周りを少し距離を伸ばして散歩をしてみたり、大人のまねをする遊びや、しっぽ取りゲーム、ボールを片足で蹴ったりしてあそぶなど身体的な発達を促してみてください。また、子どもには多くのほめ言葉をかけ、安心感だけでなく満足感や自信が持てるようにかかわり、精神面の発達にもつなげていきましょう。

「あそびながらの運動」で大人も一緒に楽しんでみてください。

子育て支援センター 治田東

☎ 554-6115 FAX554-6116

チラシを見て頼んだ廃品回収に注意！

<事例1>

チラシを見て廃品回収を業者に依頼した。チラシには「廃品回収代金8万円」と書かれていたが、実際には47万円請求され支払ってしまった。

<事例2>

不用品の処分をしてもらおうと、投げ込みチラシの業者に電話をすると「費用は3万円ぐらい」と言われたが、来訪すると30万円を提示された。高いと思ったが仕方なく支払った。

<助言>

投げ込みチラシなどを見て業者に廃品回収を依頼する場合、チラシに記載されている金額で契約できるとは限りません。事前に複数の業者から見積りを取り、料金だけでなく作業内容も比較検討しましょう。

作業終了後に突然高額な金額を請求されるケースもあります。契約時や作業開始前に追加料金がないか確認しましょう。

作業時は家族や周りの人に立ち会ってもらうことも大切です。

契約についてトラブルが生じた場合は、早めに消費生活相談窓口へご相談ください。

自治振興課 消費生活相談窓口（相談無料）

9:15～12:00 13:00～16:00

☎ 551-0115 FAX 551-0432 平日のみ
滋賀県消費生活センター（相談無料）

☎ 0749-23-0999 9:15～16:00
平日・土曜日でも相談できます

草津警察署安全伝言板

◆児童虐待の防止にご協力を◆

～11月は「児童虐待防止推進月間」です～

<児童虐待を防止するために!!>

昨年中、滋賀県警察が受理した児童虐待に関する相談などの件数は1,802件（前年比309件増加）で、本年も増加傾向にあります。

普段の生活の中で、

- 子どもの身体に不自然な傷やアザがある
- 泣き叫ぶ声や保護者の叱る声が頻繁に聞こえる
- 戸外に出されて徘徊している
- 服装、身体が汚れて、異常に痩せている
- 表情が乏しくおどおどしている

などの兆候が見られたら、児童虐待の可能性がります。

ためらわず、「子ども家庭相談センター（児童相談所）」や市町の児童相談部署などへ連絡するか、最寄りの警察署、交番に相談してください。（発見した人には通告義務があります。）

草津警察署 ☎ 563-0110 FAX563-0116





りっとう 再発見 ①62

「栗東を一望できる 横ヶ峯展望所」

岡商工観光労政課 観光振興係
☎551-0236 FAX551-0148



金勝の山中にある「横ヶ峯展望所」を紹介します。

この展望所は本市をはじめ、草津市、守山市、野洲市を一望することができ、夜景もきれいな穴場スポットです。

特に眼下にはJRA栗東トレーニングセンター（以下栗東トレセン）の全貌を見ることができ、早朝であれば設置されている望遠鏡を使って馬が走っている姿を見ることが出来ます。また、晴れた日には琵琶湖や比良山系を見渡すことができます。

展望所は別名「馬頭観音堂前駐車場」とも呼ばれており、昭和63（1988）年に栗東トレセンの馬の健康と騎手の安全を祈願するため、金勝寺が馬頭観音堂を建立し、参拝者用駐車場として整備されたものです。

金勝寺は奈良時代初期の天平5（733）年に建立され、明治維新以前の寺領は現在の栗東市の

半分にも及んだそうです。お堂が建立された当時は栗東トレセンの関係者が当時の栗東町の人口（4万3千人）の8%を占めており、お堂の建立を機に新旧住民の絆をつくりたいという思いも当時の住職にはあったそうです。

現在もお堂には馬型の絵馬が並んでおり、栗東と馬との関係の深さを感じることが出来ます。

横ヶ峯展望所には8台ほどの駐車場があり、車でのアクセスが可能です。また、秋の紅葉シーズンには、金勝山ハイキングコースの入口でもあるため人気の場所となります。

11月29日までの土日祝日は手原駅から金勝寺までをむすぶ「こんぜめぐりちゃんバス」も運行しています。

この秋は自然と歴史を感じに一度訪れてみてはいかがでしょうか。



よりよく生活するための12か条 ③1



自分が生まれてきたことを大切に思い、愛されていることを実感できるように、毎月誕生会を行い、園児全員でお祝いをしています。

今年度は、三密を避けるため、クラスごとの誕生会を行います。大切な機会として、大切な人からお祝いのメッセージを伝えていただき、子どもから「ありがとう」の気持ちを込めて、大好きな家族の絵を描いたペンダントをプレゼントしたりしています。

「生まれてきてくれてありがとう」「大切に育ててくれてありがとう」、そんなあなたがい気持ちがい通う時間をこれからも大切にしていきたいです。

園幼児課

☎ FAX 554551-0424
0149



ありがとう 明るい笑顔に やさしい言葉
～2019年度 21世紀スローガンコンテスト 努力賞作品～

うますぎる 栗東

RITTO
SHIGA, JAPAN

美味しい! みごとな料理
上手い! たくみな技術
旨い!! 暮らしの知恵
馬!!! 栗東といえば
など、まちの「うますぎ!」を紹介します。

うますぎ★ブランド

走井地域のまちづくりと こんぜ清流米



里山と棚田が広がる走井地域は、人口減少と高齢化が進み、草刈りや農地の維持管理が大変難しくなっています。

走井地域では約10年前から里山と農地の保全を考え、棚田ボランティアの募集や走井の良いと

ころを発信する取組みを進めてきました。

同地域の、傾斜地に階段状につくられている棚田は、先祖から引き継いだ財産として大切に管理をされ、そこで作られるお米は「こんぜ清流米」として販売されています。

この走井の美しい里山と棚田を次の代へつなごう。そんな想いで地域の皆さんはまちづくりを行っています。

本市南部に広がる山林とその恵みを受けた水田は、市民の「食」を支え、栗東の環境と緑を守り、命の多様性に貢献しています。

「こんぜ清流米」や、「栗東米」を食べて、栗東の里山を応援してください。

圃農林課 農政係

☎ 551-0124

FAX 551-0148



栗東高等学校美術科

ただいま展示会にむけて制作中です!



「栗ノ助」



◀ 作品の制作光景

滋賀県立栗東高等学校美術科は、県内唯一の専門学科美術科として平成7年に開設され、今年で26年目にあたります。将来の芸術文化を担い、造形芸術をとおして社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

美術科棟などの専門施設、各学年週9～10時間にもおよぶ美術の授業、総勢13人のスタッフ、美術科ならではの取組みや行事など、充実した施設と環境の中で、美術科の生徒たちはさまざまな

体験を重ね、かなりの時間と深みをもって専門的に美術を学習していきます。

その美術科生徒たちの集大成とも言えるのが、3年生が取り組む「卒業制作展」です。卒業制作では、個々がそれぞれ大きな作品に取り組んでいます。それは大変な労力であり、生徒たちはさまざまな困難を一つひとつ乗り越え、作品発表までたどり着くこととなります。

生徒の作品は、若さによる未熟な部分もありますが、純粋な感性が感じられ、どれも非常に魅力的です。ぜひ皆さんご覧ください。

「栗東高校美術科24期生卒業制作展」

会場…栗東芸術文化会館

さくら小ホール

日時…11月11日(水)

～11月15日(日)

9:30～17:00

(最終日は15:00まで)



圃栗東高校 美術科 (小野618)

☎553-3350 FAX554-1537

☎…<http://www.ritto-h.shiga-ec.ed.jp/>

だれとでも いっしょにあそんで ころころがぽかぽか

～令和元年度人権啓発作品 標語の部 佳作作品～

各地で稲刈りが行われました



9月24日（葉山小学校 学習田）

6月の田植えから3か月、実りの秋を迎えました。田植えのサポートもして下さった今土農耕クラブの皆さんから、稲刈りのレクチャーを受けてスタート。初めは難しかったようですが、すぐにコツをつかみ1時間ほどですべて刈り終わりました。子どもたちにとって価値ある体験活動となりました。



9月19日（走井）

参加者の皆さんは、秋晴れのもと、里山の自然を満喫しながら1株1株丁寧に鎌で稲穂を刈り取りました。

「収穫体験を行うことでご飯を食べるときに生産者の顔が浮かぶ。」「春に植えた苗がこのような豊かな実りになることを実感した」などの声が聞かれました。



リズム感を楽しく学ぶ

9月30日（大宝西児童館）

親子リズム教室が開催されました。リズムとは、全身を使って音楽を動きで表現することで、音楽性だけでなく人間性や身体能力を養う教育法です。先生の掛け声やピアノの音に合わせて、親子で楽しそうに体を動かされていました。



路上喫煙防止の街頭啓発

10月1日（栗東駅前・手原駅前）

朝の通勤・通学時間帯に、市内の主要駅周辺で通行者への啓発活動を行いました。通勤・通学される人などを中心に、啓発用ウェットティッシュを配布し、路上喫煙防止を呼びかけました。



秋の全国交通安全運動出発式

～横断歩道ピタッと大作戦～

9月18日（市役所前駐車場）

秋の交通安全運動の開始に先がけ、草津栗東地区交通対策協議会参加団体の車両に横断歩道利用者保護を呼びかけるマグネットを貼付し、市内街頭啓発を行うことにより、横断歩道付近での徐行、歩行者がいる場合の一時停止など、横断歩行者保護の意識高揚を呼びかけました。

新型コロナウイルス感染症予防対策などのため寄贈をいただきました。ありがとうございました。

◇寄贈 株式会社信英技研工業、株式会社セルミック（敬称略・10月20日現在）



祝

100歳おめでとうございます！



澤井 さよ (十里) 後藤 猪三郎 (蜂屋) 平田 雪子 (小野)
川崎 きよ (上鈎) 中村 きみ子 (下鈎)
青山 賢造 (出庭) ※敬称略

9月 (市内各所)

今年度は、昨年度より2人多い6人が9月までに100歳を迎えられました。

市長がご自宅を訪問し、長年にわたる社会への貢献に感謝するとともに、生きがいを持って健全で安らかな生活を送っていただくよう、記念品を贈り、長寿をお祝いしました。

皆さん、いつまでもお元気で過ごしてください。

栗東歴史民俗博物館は9月で開館30周年を迎えました！

開館30周年記念展

滋賀県立琵琶湖文化館・栗東歴史民俗博物館地域連携企画展
「栗太郡の神・仏 祈りのかがやき」ギャラリートーク

9月22日・10月18日

11月15日(日)まで開催中の滋賀県立琵琶湖文化館と共催による企画展では、両館が寄託を受けた名品の数々を展示し、栗太郡に関わる幅広く、奥深い信仰文化を紹介しています。解説展示会では、両館の学芸員が見どころを説明し、多くの来館者が熱心に聞き入っていました。



RISS ミュージアムロビーコンサート 38 ～月夜に舞い上がる魂の響き～

10月3日 (旧中島家住宅)

栗東音楽振興会 (RISS) と栗東歴史民俗博物館の共催事業として、毎年恒例のお月見コンサートが開催されました。「和太鼓創作 unit 鼓娉こなん」の気迫に満ちた力強い演奏と笹笛の音色で、秋の夜を楽しんでいました。

びわ湖放送 栗東市広報番組「うますぎる栗東」で栗東歴史民俗博物館の魅力を紹介

開館30周年を迎えた栗東歴史民俗博物館の取組みや企画展の魅力をお伝えします。ぜひご覧ください！

第3回「栗東歴史民俗博物館 開館30周年！」

放送日時…11月14日(土) 18時5分～・再放送…11月28日(土) 18時5分～

※番組放送後は、YouTube「りっとうチャンネル」でも動画配信します。

■「琴線華」の由来は？
市の花「キンセンカ」に、「人の心の琴線に触れる種をまき、いつか華咲くよつこ」との願いをこめました。「琴は音、線は書、華は舞です」との質問に、そこまで考えていませんでしたが、5人にびったりな名前だと嬉しくなりました。

■結成のきっかけは？
2019年11月にびわ湖大津館で開催された和の祭典「近江のおもてなし」で初共演し、そこで書と舞と音のコラボレーションが実現、結成しました。栗東を拠点に、それぞれの分野で活動している5人が集まって表現すれば、何かおもしろい化学反応が起こるかもしれないと思ったことがきっかけです。



琴線華（キンセンカ）

(写真左より)
書：猪飼 宜妙 (69歳)
ビオラ：久野村 優子 (54歳)
舞踊：鈴木 麻奈美 (53歳)
箏：加納 佳津子 (58歳)
書：松沢 麻美 (55歳)

舞踊・箏・ビオラ・書のそれぞれの分野で活動する5人による芸術ユニット。和楽器と洋楽器の演奏に、舞と書道パフォーマンスを融合させた、新しいスタイルで表現。

■今後の活動の抱負は？
旧和中散本舗の公演では「琵琶湖周航の歌」に「栗東山の子編」

■どんなパフォーマンス？
「心るやと」「春の海」など聞き覚えのある親しみやすい曲の演奏に、舞と書道パフォーマンスを融合させます。ビオラと箏の美しい音色は和洋を超えて共鳴し、音と書が重なり合い、時にやわらかく、時にダイナミックな筆の躍動を感じることができます。百人一首を「さくら さくら」の曲にのせ、古へとつぎなつ舞は艶やかです。公演では、和にこだわった衣装で、独創的な演出をしています。分野の違う5人の技と個性が、ひときわ、ひとつにとけあう唯一のパフォーマンスです。

を加え、初披露しました。栗東の魅力がギョツとつまったオリジナル歌詞を名曲にのせて誰もが歌えるように、地域で幅広く公演していきたいです。コロナ禍で芸術文化は後回しになりがちですが、お客さまの晴れ晴れとした表情に勇気づけられ、どんな時でも地道に続けることの大切さを実感しました。小さな種がやがて大きな華になるよう、今後も活動の場を広げ、発信していきたいです。



▲旧和中散本舗 大角家住宅の伝統的な空間で和洋弦楽器の演奏と百人一首舞、書道パフォーマンスが行われました。(9月22日 旧和中散本舗 秋の特別公開での公演)

軽費老人ホーム 入居者募集中

豊富な経験と実績が
あなたの幸せな老後を
しっかりサポートします

今がチャンス！
夫婦部屋・個室とも空いています。

高齡者ケアの総合施設

体験利用・ショート利用可
60歳から入居可

社会福祉法人 八起会



石部ケアハウス
〒520-3112 湖南市丸山4丁目5番1号
http://www.hachikikai.com

☎0748-77-0025
※お気軽にお電話ください。
FAX 0748-77-0370

有料広告 募集中

広報りっとうに
広告を出しませんか？

「広報りっとう」は市内約26000戸に毎月直接配布しています。お店や、教室などのPRにお役立てください。

広告料(1号1枠) 本文30,000円
お知らせ版20,000円(制作料を含みます)
規格 縦55mm×横85mm、モノクロ
※詳細と空き状況は、市HPでご確認ください

問合せ…秘書広報課 TEL551-0641 FAX553-1280

有料広告掲載のお申込み・お問合せは秘書広報課 ☎551-0641 FAX553-1280へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円) 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。



人口(10月1日現在) 人口70,340人 男35,063人 女35,277人 前月より64人増 世帯数28,718世帯

この広報紙は、古紙配合の再生紙とベジタブルインクを使用しています。